

2026

2026年度
愛知県サービスロボット社会実装推進事業

AICHI
ROBOT **ARIX** 2.0
TRANSFORMATION

参加募集要項

AICHI ROBOT TRANSFORMATION 2.0

愛知県サービスロボット社会実装推進事業

AICHI
ROBOT ARX2.0
TRANSFORMATION

実証で終わらせない。ロボット導入を見据えた社会実装プログラム

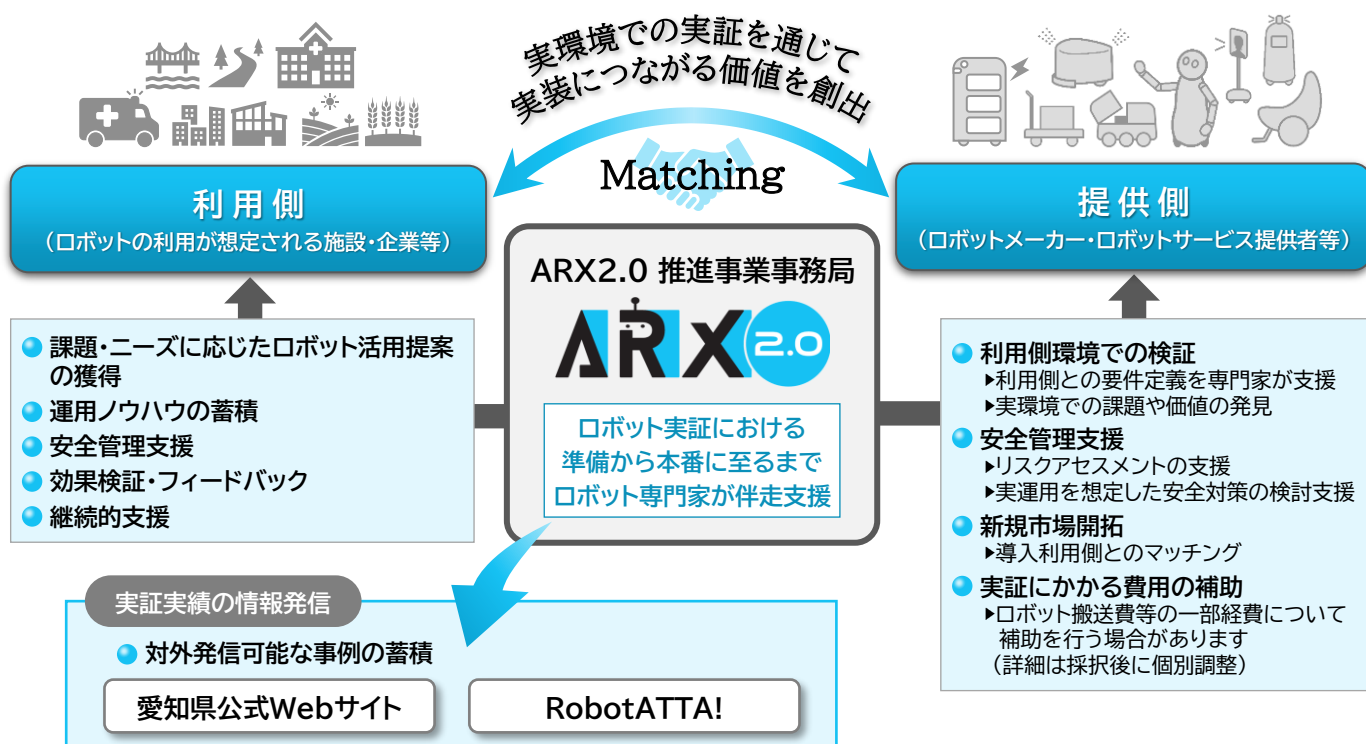
愛知県では、近年のAI技術の進展等を背景に様々な分野での活用拡大や社会課題の解決が期待されるサービスロボットの社会実装を促進するため、2026年度より「AICHI ROBOT TRANSFORMATION 2.0（略称：ARX2.0）」を始動します。

本事業では、ロボットの社会実装につながる価値の創出を目指して、ロボット・UXの専門家による伴走支援のもと、ロボットの利用が想定される施設・企業等（利用側）と、ロボットメーカー・ロボットサービス提供者等（提供側）とのマッチングによる実証実験を実施します。

また、実証自体のハードルが高い領域にもあえて注力し、成功要因や導入課題を整理・可視化することで、実証後の継続導入につながるモデルの構築を目指します。

さらに、実証実験で得られた成果を他分野にも展開可能な形で発信し、サービスロボットの社会実装を促進します。

ARX2.0事業の位置付け



事業概要

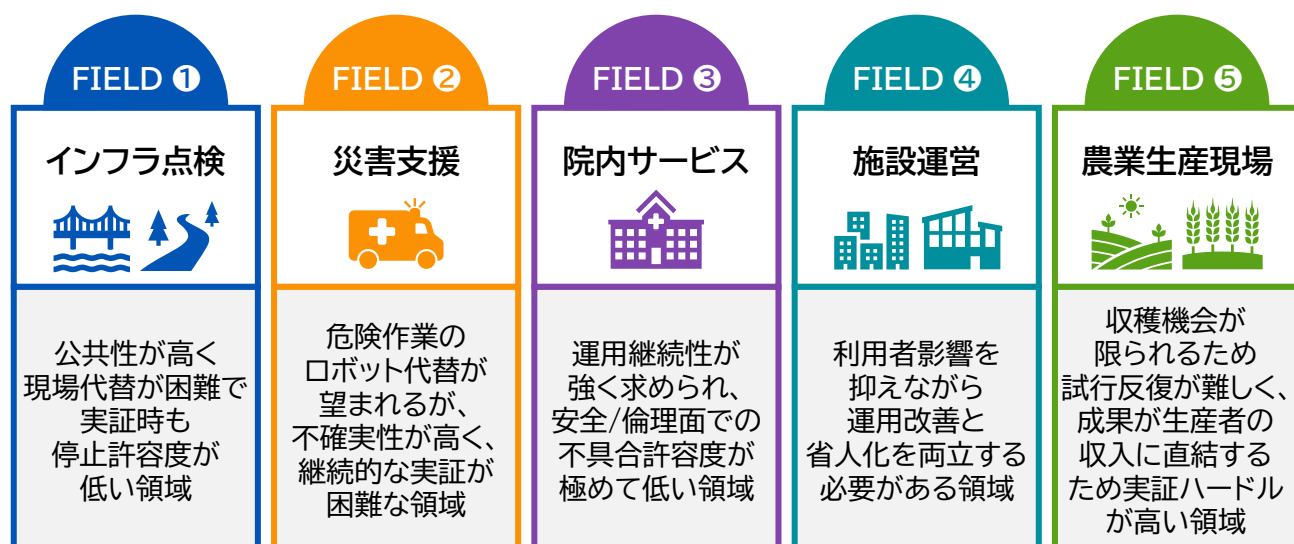
- 名 称 2026年度 愛知県サービスロボット社会実装推進事業
AICHI ROBOT TRANSFORMATION 2.0（略称:ARX2.0）
- 主 催 愛知県経済産業局産業部産業振興課 ロボット産業グループ
- 目 的 ①専門家による伴走支援を通じた実証実験を行うことにより、社会実装に至るまでの課題の抽出・整理を含めた実証実験全体の成果の幅広い情報発信を通じた横展開を行います。
②ロボットの利用が想定される施設・企業等(利用側)とロボットメーカー、ロボットサービス提供者等(提供側)が連携したロボット活用の可能性を検討する体制整備と、各領域におけるサービスロボット活用事例の創出につながる課題の明確化を重視します。
- 期 間 2026年12月～2027年2月の期間内で、利用側・提供側と個別調整(約1か月程度を想定)
※ロボット活用ユースケースの内容等により、一部の実証実験は前倒しで実施する場合があります（インフラ点検「③除草作業」は、2026年10～11月頃を想定）
- 会 場 愛知県内のサービスロボットの活用を検討している施設
- 件 数 5ユースケース程度

事業内容

導入を見据えたマッチングと伴走支援による社会実装を推進

本事業では、社会的必要性が極めて高い一方で、「公共性が高く代替が困難」「失敗が許容されにくい」等の理由から、民間単独では実証が難しかった「インフラ点検」「災害支援」「院内サービス」「施設運営」「農業生産現場」の5領域に重点的に取り組みます。あわせて、各領域の課題解決に資するロボットを提案する提供者を募集します。

ロボット・UXの専門家による伴走支援のもと、利用側と提供側とのマッチングを行い、ロボット導入を見据えた検証項目の明確化及びリスクアセスメントを行い、実証実験を通じて現場への導入・定着を目指します。



※実証領域の中から、提供側の選定を行い、5件程度のロボット活用ユースケースの実証実験を行う予定です。

事務局の支援内容

- 導入を検討する利用側とのマッチング
- ロボットの専門家による伴走支援及びアドバイス
- リスクアセスメントの実施
- 運営支援（実証実験立ち合い補助 等）
- ロボット搬送費等の一部経費について補助を行う場合があります（詳細は採択後に個別調整）
- 実証レポートの作成、情報発信 等

リスクアセスメント（安全・倫理確保）

基本方針	● 実証時の安全確保は、実証実施関係者（利用側・提供側双方）の責任にて行います。 ● 事務局は安全管理手法のガイダンスを通じて、実証実施関係者への安全管理の徹底を促します。
実施の流れ	● すべての提供側には、実証時のリスクアセスメント及びリスク低減策の実施を義務づけ、評価結果を事務局に共有いただきます。 ● 専門家によりリスク低減対策が不十分と判断された場合、提供側にロボット仕様や実証シナリオの見直しを求めることがあります。追加対策が講じられたこと、必要な情報が関係者に共有されたことを確認の上、実施いただきます。 ● 実施時に安全対策が適切に行われているかを現場で確認し、必要に応じて指導を行います。

本事業の情報発信

発信媒体

▶ 愛知県ホームページでの情報発信、記者発表

愛知県ホームページへの掲載や記者発表を通じて、本事業の概要や募集情報、実証成果等を広く発信します。

〈URL〉 <https://www.pref.aichi.jp/>

▶ RobotATTA!(ロボットあった！)との連携による情報発信

インキュビオンが運営するロボット分野特化型の業界向け情報サイト「RobotATTA!(ロボットあった！)」と連携し、実証内容や実証成果、参画企業・ロボット等の情報を発信します。

〈URL〉 <https://www.robotatta.com/ja>



成果発表会

▶ 「あいちロボット産業クラスター推進協議会オープンセッション」での実証実験報告

あいちロボット産業クラスター推進協議会は、ロボット関連企業や大学、自治体等が参画する愛知県の産学行政連携組織です。本事業の成果は、2027年3月開催予定のオープンセッションにおいて発表し、多くの関係者に向けて実証成果や取組内容を広く発信します。

〈URL〉 <https://robot.pref.aichi.jp/promotion-council/>

実証プロセス

日程	実証プロセス			実施主体		
	項目		主な内容	利用側	提供側	事務局 (専門家)
2026年 4月下旬～ 7月上旬	1	利用側ヒアリング	現場ニーズを確認。ロボット化が考えられるユースケースを抽出。	●		●
7月10日～ 8月10日	2	公募（提供側募集）	各ユースケースに対応するロボットソリューションの提供者を募集。		●	●
8月上旬～ 9月中旬	3	選考（1次選考）	選考は、書類審査や外部の有識者へのヒアリングを踏まえ、愛知県において実施。			●
9月中旬	4	実証候補の決定 (内定通知)	実証候補となるロボット及びユースケースを選定し、事務局より応募提供側へ内定通知を行う。		●	●
9月下旬～ 10月上旬	5	マッチング・最終確認 (最終選考)	利用側とのオンライン面談や現地視察会を通じて、実証内容の最終確認及びマッチングを実施。 ※現地視察会及びオンライン面談の日時は、利用側・提供側と調整の上、決定。	●	●	●
10月上旬	6	採択者決定 (採択通知)	マッチング結果を踏まえ、実証参加提供側及び実証内容を決定し、事務局より候補提供側へ最終採択結果を通知。		●	●
10月上旬～ 11月上旬	7	実証シナリオの作成	導入に向けたマイルストーンとして実効性のある実証シナリオを作成。	●	●	●
11月上旬～ 12月上旬	8	リスク アセスメント	ロボットの運用に際し、安全性を確保するためにリスクアセスメントを実施するとともに、実施 具体内容・スケジュール等を調整。	●	●	●
		評価項目の 検討	ニーズ観点からの評価項目の検討。	●		●
		実証実験 詳細調整	実証実験に向け、実施具体内容・スケジュール 等の調整・準備。	●	●	●
12月上旬～ 2027年 2月下旬	9	実証実験の実施	実証実験を実施し、導入時のロボット運用に かかる課題及び効果を検証。	●	●	●
2月下旬～ 3月上旬	10	効果検証	実証結果の評価・分析。	●	●	●
3月上旬～ 3月下旬	11	成果発表会の開催	「あいちロボット産業クラスター推進協議会 オープンセッション」での実証実験報告を実施。 ※事務局にて発表者を検討し、個別ご依頼予定。	●	●	●

スケジュールは現時点での予定であり、今後変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

1 募集概要

各利用側のロボット活用ユースケースに資するロボットを有し、実証実験への参加を希望する企業・団体を募集します。

(1) 応募要件

①ロボット提供者

- ・国内に本社または事業所を有する企業・団体（ロボットメーカー、ロボットシステムインテグレータ、ロボットサービス(RaaS)事業者等）
※愛知県外の企業・団体も応募可能です。

②ロボット

- ・ロボット利用側の課題解決に資するロボットで、既に実用化されているものまたは実用化に向けた実証段階にあるもの
※ロボットは、国内製・国外製を問わず対象とします。

※本事業におけるロボットとは、「感じて(センサー)、考えて(コンピューティング)、動く(アクチュエーション)しくみ」を有するものを指します。

(2) 採択件数

参加募集要項別紙「ロボット活用ユースケース」に記載の35ユースケースのうち、5ユースケース程度を対象として実証実験を実施し、各ユースケースにつき2～3機種程度のロボットを採択予定。

(3) 募集期間

2026年7月10日(金)～8月10日(月)

2 実施内容

サービスロボットによる実証実験（詳細は別紙「ロボット活用ユースケース」をご覧ください）。

実証領域		No.	利用側（想定）	実証実験時期
FIELD ①	インフラ点検	1	三河港 神野地区	2026年12月～2027年2月 ※上記期間内で利用側・提供側と個別調整(約1か月程度を想定) ※ロボット活用ユースケースの内容等により、一部の実証実験は前倒しで実施する場合があります (インフラ点検③除草作業は2026年10～11月頃を想定)
		2	三河臨海緑地	
FIELD ②	災害支援	3	(調整中)	
FIELD ③	院内サービス	4	地方独立行政法人 知多半島総合医療機構 知多半島総合医療センター	
FIELD ④	施設運営	5	ミツカンミュージアム	
		6	常滑市南陵市民センター 公民館・体育館	
FIELD ⑤	農業生産現場	7	(調整中)	

3 参加に関する注意事項

- ・ 実証実験に要する費用(ロボット開発・機材の準備、搬入搬出、設営、運営、人件費、保険料等)は、原則として提供側の負担とします。ただし、会場使用料は事務局が負担するほか、旅費やロボット搬送費等の一部経費については、予算の範囲内で事務局が負担または補助を行う場合があります。なお、対象経費や補助内容は一律に定めるものではなく、採択後に個別協議の上、決定します。
- ・ 実証内容やリスクに応じて、必要となる保険(賠償責任保険、実証実験に従事する者の労災保険・傷害保険、ロボット・機器の動産保険等)については、提供側の責任において加入してください。
- ・ ロボットの運用に際し、安全性を確保するためにリスクアセスメントを実施していただき、実証実験等実施時の安全管理は提供側の責任のもと行っていただきます。
適切な対策が講じられていないことが判明した場合は採択を取り消す場合があります。
- ・ 実証実験の実施時期及び内容や方法は、利用側と提供側、愛知県と調整の上、決定します。
- ・ 実証実験終了後、成果発表会等の情報発信についてご協力いただきます。
- ・ 実証実験で撮影した、記録写真・動画については、愛知県がサービスロボットの普及・啓発に活用いたします。
- ・ 実証実験は、複数の実証領域、利用側及びロボット活用ユースケースに応募可能です。

4 応募方法

参加を希望する方は、下記の書類を電子メールに添付して送付してください。

※以下、愛知県WEBページよりExcel書式がダウンロードできます。

ダウンロードURL <https://www.pref.aichi.jp/press-release/26sanrobo-sabiroboboshu2026.html>

① 参加申込書 (Excel書式)

② ロボットの概要及び想定する実証内容が分かる資料 (様式自由)

ロボットの基本情報(名称、用途、主な仕様・機能、導入実績等)及び本実証実験において実施を希望する具体的な実証内容(対象ユースケース、実施方法、検証項目、期待される効果等)が分かる資料を提出してください。

③ ロボットの外観が分かる画像及び動作が分かる動画

(1) 提出方法

提出書類の電子データを電子メールに添付して送付してください。
ファイルサイズが5MBを超える場合はファイル便等を使用してください。

(2) 提出先 ※委託業者(株式会社電通ライブ)より、事務局業務を受託

ARX2.0 (AICHI ROBOT TRANSFORMATION 2.0) 推進事業事務局
(ヴィジヨントラスト株式会社 内)
〈E-mail〉 info@arx-2.com

(3) 提出期限

2026年8月10日(月) 必着 ※電子メールにて提出してください。

5 選考方法

(1) 選考について

- ・ 選考は、書類審査や外部の有識者等へのヒアリングを踏まえ、愛知県において行います。
- ・ 選考内容は非公開とし、選考の経過等に関する問い合わせには応じません。
- ・ 2026年9月中旬頃に1次選考(内定通知)を行います。その後、利用側とのオンライン面談や現地視察会を通じて実証内容の確認を行い、最終的なマッチングを経た上で、2026年10月上旬頃に採択者を決定します。
- ・ 選考結果は、採択・不採択にかかわらず、参加申込書に記載されている応募者に10月上旬を目途に電子メールにて通知します。
- ・ 選考及びマッチングの過程において、応募内容に関する追加資料の提出やヒアリングをお願いする場合があります。
- ・ 利用側のニーズやマッチング結果等を踏まえて総合的に選定を行うため、ご応募いただいた内容が採択されない場合があります。

(2) 選考基準

- ・ 利用側の課題解決に資するロボットであるか。
- ・ 3～5年以内に実サービス展開が期待できる領域/技術であるか。
- ・ 個別課題の解決にとどまらず、当該領域に共通する社会課題の解決に資する実証テーマであるか。
- ・ 倫理や安全面への配慮が適切に行われているか。

(3) 選考結果通知

選考結果は、採択・不採択にかかわらず、参加申込書に記載されているご担当者に電子メールにて通知します。

なお、採択後であっても、実証実験等を行うロボットまたは提供側に関して、法令違反や社会的信用を損なう行為等が認められた場合は、採択を取り消す場合があります。

6 問い合わせ先

公募に関する問い合わせ先

ARX2.0 (AICHI ROBOT TRANSFORMATION 2.0) 推進事業事務局
(ヴィジョントラスト株式会社 内)

〈E-mail〉 info@arx-2.com

事業全般に関する問い合わせ先

愛知県経済産業局産業部産業振興課ロボット産業グループ

〈住所〉 〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号 (愛知県庁本庁舎2階)

〈TEL〉 052-954-6352 (ダイヤルイン)

〈E-mail〉 sangyoshinko@pref.aichi.lg.jp

〈受付時間〉 午前8時45分から正午まで、午後1時から午後5時30分まで (土日・祝日を除く)

【問い合わせに関する注意事項】

本事業に関して、実施場所(利用施設・関係機関等)への直接のご連絡・お問い合わせはお控えください。



配膳・下膳

障害物や人を避けながら、指定場所までたくさんの荷物や備品等を運ぶ自律移動するロボットによって、人手不足の解消や接触機会の削減が可能となります。



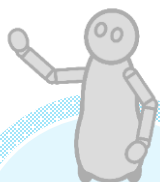
デリバリー

物流拠点や小売店舗等に様々な荷物や商品を自律配送するロボットにより、配達員の省力化や接触機会の削減が可能となります。



物品輸送

荷物を載せたロボットが、自律移動や人の後ろを追従しながら移動することで、倉庫や工場等の運搬業務を少ない人数で行うことができます。



受付・案内

商業施設や病院等において、音声会話機能を備えたロボットが案内業務を行います。自律移動機能を備えることで、目的地まで先導することも可能です。



通訳サービス・アバター

AI自動翻訳機能を備えたロボットによる多言語対応により、インバウンド来場者のサポートを行います。カメラとディスプレイを備えることで、離れた場所からロボットを操作することも可能です。



介助・歩行支援

AI機能搭載や離れた場所からのオペレーションにより、ロボットの移動やアーム操作を行うことで、高齢者や障がい者等介助が必要な方のサポートを行うことができます。



モビリティ

人を乗せて目的地まで自動で移動するロボットによって、目的地まで合理的な経路で移動することが可能となります。



清掃・消毒

ロボットが無人で床の清掃や消毒液散布を行います。自律移動機能を備えたロボットが建物内を広範囲に移動することで、いつもクリーンな状態を保ちます。



警備

センサーやカメラの映像や音声等を自動分析する警備ロボットが商業施設や病院等を効率的に巡回。事故や火災等の非常事態を自動検知する等、24時間体制での警備業務を行います。

上記以外のロボット/ロボット関連技術でも応募可能です。

サービスロボット専門家 プロフィール



インキュビオン株式会社 [2018年設立]

人とロボットが持続可能な形で共存する社会の実現を目指し、サービスロボットの導入シナリオ策定、安全運用支援を行います。ロボットを活用できる人・環境・仕組みの協調を指す“ロボットエクスペリエンス”のデザインを強みとし、実証支援にも取り組んでいます。



代表取締役 CEO

高橋 祥子 *Shoko Takahashi*

[主担当領域]

院内サービス

施設運営

農業生産現場

- ・ サービスロボットの実用化・事業化支援が専門
- ・ ISO(国際標準化機構)TC299/WG7 サービスロボットマネジメントシステム エキスパート
- ・ 日本ロボット工業会サービスロボット安全運用マネジメントワーキンググループ委員(2023~2025)
- ・ 愛知県ロボット産業クラスター協議会 委員(2024~)



ロボット実装ディレクター

鈴木 壮一郎 *Soichiro Suzuki*

[主担当領域]

インフラ点検

災害支援

- ・ レスキューロボットに関する研究活動に従事
- ・ WRS2025 過酷環境F-REIチャレンジ競技検討委員(2025)
- ・ ロボット開発実証施設の利用者支援及び安全管理に従事(2022~2025)

主な実績



大阪・関西万博 ロボットエクスペリエンス事業 [2025年]

実証アドバイザーとして、60機種/24団体の参加ロボットが万博会場内共有部及びパビリオンにて稼働する際の、実証シナリオ監修及びリスクアセスメントを支援。事故のない運用と、来場者体験向上を両立しつつ、参加企業が求めるフィードバックを得られるよう、適切な実証環境の構築をサポート。



サービスロボット運用事例調査 [2025年産総研との共同事業]

チェーン飲食店、オフィスビル、空港ターミナルにおいて、複数種のロボット(清掃、警備、搬送等)を同時運用する場合の、運用手法・体制を調査し、ベストプラクティスをモデル化。第43回日本ロボット学会学術講演会にて発表。



あいちロボットトランスフォーメーション(ARX)

[2021~2023年]

効果検証アドバイザーとして実証実験に立ち会い、環境/現場オペレーションと実験シナリオとの適合性を検証。提供側にヒアリングを実施し、ユーザー視点からの課題を確認。フィードバックレポートを作成し、今後の実証実験設計に活用できるアイデアを参加提供側にアドバイス。



事業名	サービスロボット社会実装推進事業
事業内容	※プロジェクト名称：「AICHI ROBOT TRANSFORMATION(ARX)」 愛知県内医療施設や商業施設での実証実験を通じ、ロボット導入の促進と、愛知県のロボット技術力や先進的な社会モデルの発信を目的に実施。実証は、施設の課題解決を目的とした「課題解決型」、先進的サービスモデル創出を目的とした「プロジェクト組成型」の2類型で実施した。さらに展示やセミナー等を通じて成果を発信し、ロボット導入を検討する施設とのマッチング機会の創出を図った。 

事業名	大阪・関西万博サービスロボット実証事業（出展）
事業内容	2025年大阪・関西万博「未来社会ショーケース事業(ロボットエクスペリエンス)」において、愛知県は1週間の展示出展を実施し、ロボットと人が協働する未来のサービスモデルを体験型展示として紹介。本プロジェクトでは、人とロボットが共生する社会の概念として「ロボットインクルーシブ」を提案し、ロボットと人間の垣根を越えて共生する社会のあり方を発信した。「AICHI Robot Friendly Café」をコンセプトに複数のサービスロボットを組み合わせ、人とロボットが役割分担してサービスを提供する空間を構築。来場者に体験機会を提供するとともに、愛知県のロボット技術力やロボット活用モデルを国内外に発信した。 

2026年度愛知県サービスロボット社会実装推進事業【参加申込書】

2026年度愛知県サービスロボット社会実装推進事業
AICHI ROBOT TRANSFORMATION 2.0

参加申込書

●該当する項目に✓または、青色の空欄に必要事項をご記入いただき、下記事務局までメールにてお申込みください。

送付先mail	info@arx-2.com (ARX2.0推進事業事務局)
提出期限	2026年8月10日(月) 必着

お申込日	2026年 月 日（ ）					
お申込 企業・団体名	フリガナ					
	企業・団体名					
ご住所	〒					
ご担当者	所属・役職					
	フリガナ					
	お名前					
ご連絡先	E-mail					
	TEL					
	FAX					
	Mobile					

2026年度愛知県サービスロボット社会実装推進事業【参加申込書】

※複数のロボットで応募する場合は、必ず1機種ずつご記入ください。

■希望される実証領域と、ロボット活用ユースケースの両項目を✓にて選択してください。

☐ FIELD ① インフラ点検

- ☐ ロボット活用ユースケース①：フジツボ除去
- ☐ ロボット活用ユースケース②：鋼矢板点検
- ☐ ロボット活用ユースケース③：除草作業
- ☐ ロボット活用ユースケース④：その他

☐ FIELD ② 災害支援

- ☐ ロボット活用ユースケース①：消防活動支援 ― 現場監視
- ☐ ロボット活用ユースケース②：消防活動支援 ― 資材運搬
- ☐ ロボット活用ユースケース③：避難誘導・行動支援
- ☐ ロボット活用ユースケース④：その他

☐ FIELD ③ 院内サービス

- ☐ ロボット活用ユースケース①：受付案内・コンシェルジュ支援
- ☐ ロボット活用ユースケース②：CD搬送業務
- ☐ ロボット活用ユースケース③：検体の搬送
- ☐ ロボット活用ユースケース④：病棟向け薬剤定期搬送
- ☐ ロボット活用ユースケース⑤：患者移乗支援
- ☐ ロボット活用ユースケース⑥：患者ベッド搬送支援
- ☐ ロボット活用ユースケース⑦：その他

☐ FIELD ④ 施設運営

- ☐ ロボット活用ユースケース①：水盤の苔掃除
- ☐ ロボット活用ユースケース②：高所の窓清掃
- ☐ ロボット活用ユースケース③：鳥害対策
- ☐ ロボット活用ユースケース④：雑草の除去
- ☐ ロボット活用ユースケース⑤：エントランスの自動受付
- ☐ ロボット活用ユースケース⑥：お客様交流補助
- ☐ ロボット活用ユースケース⑦：お客様Q&A対応
- ☐ ロボット活用ユースケース⑧：ドリンクバー対応
- ☐ ロボット活用ユースケース⑨：ショップ搬入
- ☐ ロボット活用ユースケース⑩：利用後巡回 ― 清掃/施錠
- ☐ ロボット活用ユースケース⑪：入館時警告
- ☐ ロボット活用ユースケース⑫：不整地草刈り自動化
- ☐ ロボット活用ユースケース⑬：人共存清掃
- ☐ ロボット活用ユースケース⑭：トイレ清掃
- ☐ ロボット活用ユースケース⑮：その他

☐ FIELD ⑤ 農業生産現場

- ☐ ロボット活用ユースケース①：農地巡回 ― 生育監視
- ☐ ロボット活用ユースケース②：鳥獣害対策支援
- ☐ ロボット活用ユースケース③：農薬散布支援
- ☐ ロボット活用ユースケース④：資材運搬・搬送
- ☐ ロボット活用ユースケース⑤：その他

希望される
実証実験

2026年度愛知県サービスロボット社会実装推進事業【参加申込書】

ロボット 正式名称	フリガナ	
	ロボット名	
ロボット種別	■複数の機能が搭載されている場合は、該当の項目すべてを✓にて選択してください。 ☐ 配膳・下膳 ☐ デリバリー ☐ 物品輸送 ☐ 受付・案内・サイネージ ☐ 通訳サービス・アバター ☐ 介助・歩行支援 ☐ モビリティ ☐ 清掃・消毒 ☐ 警備 ☐ ロボットアーム ☐ コミュニケーション ☐ その他（ ）	
ロボットの概要	■ロボットの機能、サービス内容、実用化状況、技術的先進性、事業モデルなどについてご記入ください。 ※500～1,000文字程度でご記入ください。入力文字数0	
希望される 実証内容	■希望利用側に向けた実施内容を既に想定されている場合、その詳細をご記入ください。 ※500～1,000文字程度でご記入ください。入力文字数0	

2026年度愛知県サービスロボット社会実装推進事業【参加申込書】

ロボット 外形サイズ	縦		mm ×	横		mm ×	高さ		mm	
ロボット 概算重量				kg	予定台数				台	
電気容量・充電	必要電力	合計 100V () W 0 A								
	充電時間	時間 (フル充電の場合)								
	充電方法	☐ ドック充電 ☐ ケーブル充電 ☐ バッテリー交換式 ☐ その他 ()								
	充電器サイズ	縦		mm ×	横		mm ×	高さ		mm
	供給	実証中	☐ 要		☐ 不要					
		待機時	☐ 要		☐ 不要					
	夜間充電	☐ 要		☐ 不要						
通信環境	☐ Wi-Fi通信 ☐ 4G LTE通信 ☐ 5G LTE通信 ☐ モバイルWi-Fiルーター(提供側による持込) ☐ 通信不要									
AI技術の 活用状況	☐ 利用している ☐ 利用していない ----- ■AI技術を利用している場合、活用しているAI技術をお答えください。 複数の機能が搭載されている場合は、該当の項目すべてを✓にて選択してください。 ☐ 画像認識 ☐ 物体検知 ☐ 音声認識 ☐ 自然言語処理 ☐ 生成AI ☐ 経路最適化 ☐ 異常検知 ☐ その他 () ----- ■AI技術を利用している場合、利用しているAI技術の内容や用途について簡潔にご記入ください。 									
提供側種別	☐ ロボットの製造元 ☐ ロボットの製造元以外(販売代理店など) ----- ■以下、ロボットの製造元以外(販売代理店など)の場合、お答えください。 ●ロボット(主要コンポーネント)の製造元 会社名 : ●ロボットのソフトウェアの変更権限について ☐ ある (変更可能な範囲、不可の範囲をご記入ください) ☐ ない									
ロボット 画像・動画の 提出方法	☐ メール添付 ☐ URL : ※ロボットの外観が分かる画像と、ロボットの動作が分かる動画を提出してください。									

2026年度愛知県サービスロボット社会実装推進事業【参加申込書】

実証時に 想定される ロボット オペレーター	☐ 自社スタッフ ☐ 施設側スタッフ ☐ その他
利用側へのご要望	※500文字程度でご記入ください。 入力文字数 0
他施設での導入実績	
その他① (応募に関する 確認事項)	■該当の項目すべてを✓にて選択してください。 ☐ 日本国内に本社または事業所を有する企業・団体である。 ☐ 暴力団、暴力団員その他これらと密接な関係を有する企業・団体ではない。 ☐ 宗教活動または政治活動を主たる目的とする企業・団体ではない。 ☐ 応募書類に記載した内容に虚偽または重大な誤りはない。 ☐ 関係法令等を遵守し、本事業を適切に実施できる体制を有している。 ☐ 募集要項の内容を確認し、これに同意した上で応募するものである。
その他② (ロボット及び 提供者に関する 確認事項)	■該当の項目すべてを✓にて選択してください。 ☐ 安全に関する適合認証を取得している。 ☐ ISO13482または日本工業規格(JISB8445、B8446-1、B8446-2およびB8446-3)の要求事項を満たしている。 ☐ 倫理に関する第三者の承認を得ている。 ☐ あいちロボット産業クラスター推進協議会に入会している。 ☐ 新あいち創造研究開発補助金を活用して開発したロボットである。 ☐ 実証実験に必要な賠償責任保険に加入している。 ※実証内容やリスクに応じて、提供側の責任において加入してください。 ☐ 実証実験に従事する者の労災保険、傷害保険等に加入している。 ※実証内容やリスクに応じて、提供側の責任において加入してください。 ☐ 実証実験で用いるロボット、機器の動産保険等に加入している。 ※実証内容やリスクに応じて、提供側の責任において加入してください。

2026年度愛知県サービスロボット社会実装推進事業【参加申込書】

安全・倫理への 取り組み状況 について	【リスクアセスメント】 ●一般の方（自社スタッフ、利用側スタッフ、事務局員を除く施設来場者など）とロボットの関わりが想定される場合、発生しうる危険事象と講じるリスク低減方策などを、提供側で講じていただく必要があります。 ●個人情報の取得（カメラ画像、対話音声など）がある場合、個人情報保護に関わる取り組みをご記入ください。